

ひびき

令和7年 9月30日(火)
静岡大学教育学部
附属静岡小学校
3年 学年便り 10月号

新しい「であい」の連続

夏休みが明けてから、たくさんの「であい」がありました。新しいリーダーとの出会い。新しい班の仲間との出会い。新しい実習生さんとの出会い。新しい出来事との出会い。子どもは、新しい「であい」がある度に心を躍らせ、再びはじまる学校生活にワクワクした様子を見せていました。

—新しいリーダーとの出会い—

それぞれのクラスで「リーダーを次こそはやってみたい!」「ぜったいにリーダーになってみたい!」と熱い思いをもっている子どもがみんなの前でスピーチをしました。「〇〇ができるクラスにしたいです」「わたしは、みんなのために、精一杯がんばることがができます!」「このクラスを楽しくてあきない仲のいいクラスにしたいです」などと、クラスに込めている思いをたくさん語っていました。リーダーに立候補した子も真剣ですが、スピーチを聞いている子も真剣です。スピーチがはじまると自然に「しーん」となります。聞いている子の目はまっすぐにスピーチをしている子を見つめています。一人のスピーチが終わると、立候補した子への大きな拍手がワツとおこります。みんなで、自分たちのクラスをよくしていきたいという思いが様子や空気感から伝わってきました。



—新しい仲間・実習生さんとの出会い—

夏休み明けの一大イベントの一つが席替えです。子どもは「先生、いつ席替えするの?」としきりに聞いてきていました。きっと、新しい仲間との出会いを楽しみにしているのだなと感じました。席替えが終わると子どもは、たくさん話を新しく同じ班になった仲間としていました。「一緒になったね! やったね!」「休み時間にさ、サッカーしようぜ」というように喜んだり、遊びに誘ったりして仲を深めようとしている様子がありました。また、新しい実習生さんとお出合った子どもは「好きなものは何ですか!?!」「休日は何をしていますか!?!」「先生! あそぼ!!」「これ、プレゼント」などとたくさん質問をしたり、一緒に遊んだり、時にはプレゼントを渡したりしながら「実習の先生と仲良くしたい!」という気持ちを行動で表していました。



夏休みが明けてから学校で子どもは、日々新しい出来事に出合っています。休み時間に何気なくした会話も、授業中に見たり聴いたりしたことも、子どもにとってはすべてが新しいのです。自分の外側で起きた事もそうですが、自分の内面も日々新しくなっていきます。「今日はとっても気分がいいな」「今日は、この子と遊んでみようかな」「今日は、ちょっとだけ授業で発表してみようかな」と、今までになかった自分の気持ちや思いが芽生える瞬間があります。そんな新しい自分との出会いが、きっと成長につながっているのだらうと思います。新しい「であい」に心躍らせる瞬間がたくさんあるようにみんなで願いながら、今度は冬休みまで歩みを進めていきたいですね。

